

人や自然にやさしいエコガーデンをめざして

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

エコライフみしま



知っていますか？



市の鳥「カワセミ」



市の木「イチョウ」



市の花「三島桜」

第 3 7 号

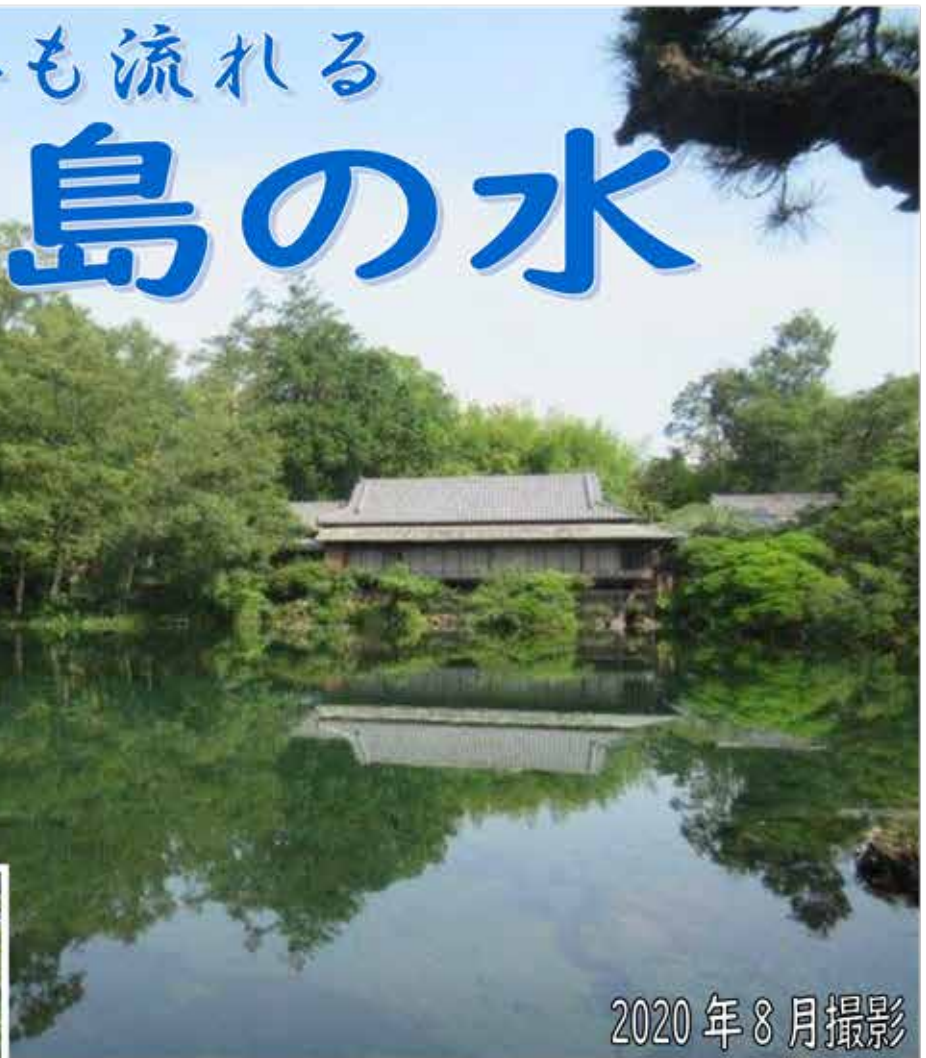
2021/5/1

- 特集「昔も今も流れる 三島の水」・・・P2、P3
- 「環境の本」の感想文紹介・・・P4

昔も今も流れる 三島の水



2021年1月撮影



2020年8月撮影

59年ぶりの最高水位
水位217cmを記録

クイズ：きれいな川に飛来する三島市の鳥は？

- ①カワセミ ②カケス ③メジロ

(答えはP3へ)

る の水

私たちが暮らしている三島は「水の都」、「水のまち」、「湧水のまち」と謳われてきました。私たちの三島は水とともに栄えてきたまちです。

持続可能な開発目標であるSDGsの目標の1つ、「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」とあります。水は17ある目標の1つになっています。他の目標分野にもまたがる重要な位置づけになっています。

水は命の源です。この水資源を未来永劫に大切にしていきたいものです。

増島先生、教えて！

三島の湧水に詳しい静岡県地学会東部支部長の増島先生に小浜池の湧水について、インタビューをしました。

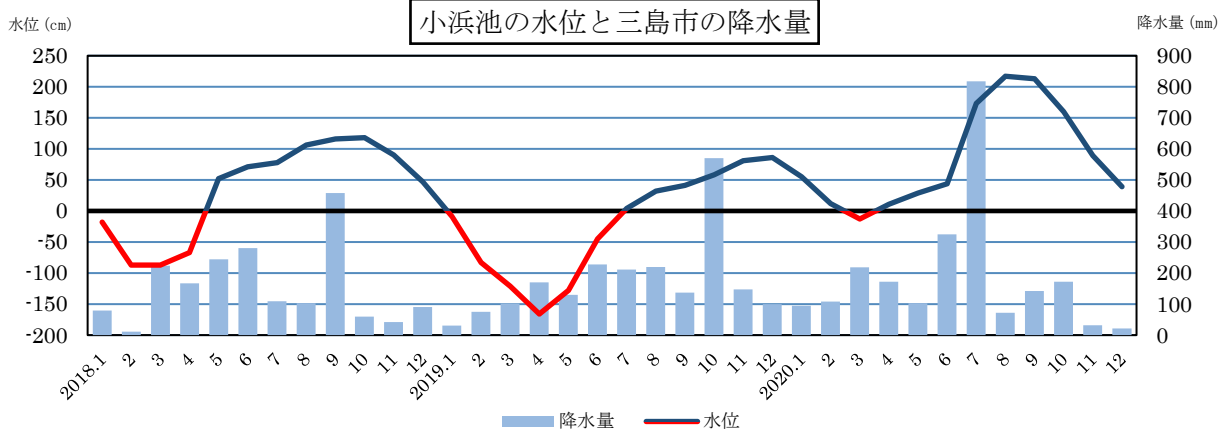
◎小浜池の湧水はどこからやってきますか？

富士山からと箱根山に降った雪や雨水などが地下水となって、流れ込み、溶岩流の末端である三島で湧き出しています。



増島 淳
静岡県地学会東部支部長
三島市郷土資料館運営協議会委員
三島市文化財保護審議会委員
三島市楽寿園運営委員
三島市歴史まちづくり協議会委員
元公立高校教頭

◎2020年、小浜池では59年ぶりの最高水位となりましたが、小浜池の湧水量が多かったのはどうしてですか？



2019年10月の台風19号により、三島市では約400mmの雨が降ったことで、翌年の渇水期(2019年12月～2020年3月頃)でも、水位が下がらなかった上に、2020年7月の降水量が約800mm(例年の4倍)と多かったことが原因です。

小浜池や浅間神社神池や白滝公園の大増水だけでなく、本覚寺本堂裏の池や西小学校グラウンド等、通常湧水が見られない場所でも水が湧き出ているのが確認されました。

◎2020年、小浜池は最高水位でしたが、近年の小浜池がかれた状態が多いのはどうしてですか？

小浜池に湧き出てくる地下水を多くくみ上げ、生活用水・工場用水等、水をたくさん使用しているからです。

◎市民が心がけていくこと、メッセージをお願いします。

水は生きていくには必要なものです。『水も限りあるもの』、『無駄に使わない』、『大切に使うこと』が大切です。

増島先生、わかりやすく説明していただき、ありがとうございました。

『ちゃんかけ』
で作った
カワセミ

表紙のクイズ答え
①カワセミ



☆ちゃんかけ・・・ちゃんわんのかけら
三島の川の底には茶碗の欠片が多くあります。それらを集め、アートにしたのが、『ちゃんかけアート』です。

昔も今も流れ 三島

水を大切に

川を
汚さない

工夫

家庭から出る排水の内、下水道の完備している所は、下水道の終末処理場できれいに処理されて川に入ります。また、下水道のない所は家庭の浄化槽などで処理されて川に流れます。汚れが多いと処理に手間がかかります。

下水道や終末処理場、浄化槽に負担をかけないためには、次のような日々の工夫が大切です。

①油汚れのフライパンや食器は新聞紙などでふき取ってから洗う



②野菜のゆで汁は鍋や皿の下洗いに使う

③米のとぎ汁は植木の水やりに使う



④洗剤などは多く使いたしません



三島の川をきれいにする奉仕活動

また、三島のきれいな川を後世に残していくためには、川にお菓子の袋やペットボトル等をむやみに捨てないこと。このようなごみは川から海へ行き、海の生き物に害を与えることとなります。一人ひとりが考えて生活することが大切です。

川を
きれいにする

活動

三島の川をきれいにする奉仕活動では、自治会やそのほか協力団体、市職員などの協力により市内の河川を清掃しています。

また、大場川や桜川、源兵衛川など市内のいろいろな川でボランティアの方が清掃を行っています。

大岡 信と水

三島市の名誉市民である 大岡 信おおか ますむねさんは三島市出身の詩人・評論家です。三島の水に対して次のメッセージを寄せています。



地表面の七割は水
人体の七割も水
われわれの最も深い感情も思想も
水が感じ 水が考えてるにちがひない

「故郷の水のメッセージ」より

三島の地で生活をしている私たちにとつての水は日本一の富士山からの湧水であり、天下の剣の箱根山水系からの水です。

この恵まれた水環境に感謝することも水環境の保全活動をこれからも継続していきます。

環 境 の 本 の 感 想

第36号にてスタッフが選ぶ環境の本の感想を募集したところ、たくさんの感想をいただきました。本誌では2月末までにいただいた感想を紹介します。ご応募頂きありがとうございました。

三島市立東小学校の児童のみなさんより

学校の図書室にある環境の本を読んでの一言感想です。

『もったいないばあさん』真珠 まりこ【作・絵】講談社

『沈黙の春』レイチェル・カーソン【著】青樹 築一【訳】新潮社

を中心に環境の本を読んでくれました。

ひさしぶりに面白い本だった。

なぜ口が矢印なのかふしぎだった。

こういうものがこんなことに使えるなら、やってみようと思った。

今までしていたことがもったいないことが多かったので、この本を読んで、これからの生活に活かしたい。

節約に役立つと思った。

沈黙の春は長いので読みにくいかとおもったら、すらすら読めた。

紙を恐竜にするという発想はなかったので、これからはすてないで、違うことに活かしたり、使ったりして、エコをやりたいと思う。

ハチドリが山火事の時、水をたらしたところに感動した。

もったいないものと、もったいなくて使わない物の違いがわかった。

読めば読むほど、生活の中でももったいないことをしているのがわかった。

色鉛筆が小さくなった時にきれいな虹ができるなんて素晴らしい。

いつももったいないことをしていたと反省した。

大根のへたで油汚れが取れること、つまらない時にもったいない遊びなどやってみたいと思った。

みかん風呂きもちよさそうだった。

いらなくなったものをいろいろ変身させて面白いと思った。

読むとき集中できて、とてもいい話だった。

『あなたが世界を変える日』を読んで

『あなたが世界を変える日

12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ』
セヴァン・カリス=スズキ【著】ナマケモノ倶楽部【編・訳】学陽書房

豊かさとは何でしょうか。お金が人生を豊かにするのでしょうか。自国の食をまかなうこともままならない私たちは、遠く離れた場所の自然を破壊し、不当に資源や労働を搾取しています。いつまで便利さを求めるのでしょうか。

この事実を私は大学生になるまで知りませんでした。社会をよくもこんなにしてくれたんだ、私たちの、地球の未来をどうしてくれるんだと自己中心的な大人たちに心底憤りを覚えます。

大人といわれる立場になった今、自分たちがこの社会を導いていく責任があります。未来を生きる子どもたちには同じ思いを抱いてほしくないから、自分ができる可能な限りを尽くしていきます。

(三島市在住 20歳)

【編集後記】 今や全世界の喫緊の課題の一つである地球温暖化は、異常気象を起し、大規模災害、自然環境や生態系の崩壊、人命・人権まで奪われるなど深刻な問題となっています。

水は、私たちの生活に無くてはならないものであると同時に、全ての生き物にとっても大事な資源です。そして、人が豊かな暮らしができるのは、大自然の様々な存在、働きがあるから…。

資源を大切にすることが自然の恵みに感謝することにもなり、多くの生命をつなぎ、災害が減り、安心安全な生活ができていく…本当の万物の共生が生まれていくと良いと願っています。(M)

【編集スタッフ(市民ボランティア)】 青木博・飯田喜一・大村洋子・武井功・西垣美保・西名秀芳・堀江紗代・山本京二

第37号 (5月・10月の年2回発行)

令和3年5月1日発行
〒411-0858 静岡県三島市中央町5-5
三島市役所中央町別館
環境政策課内
「エコライフみしま」編集事務局
TEL:055-983-2647
FAX:055-976-8728
E-mail:kankyou@city.mishima.shizuoka.jp

一緒に『エコライフみしま』を作りませんか。
ご興味のある方は、右記環境政策課までご連絡ください。